

2021年7月29日

第33回アジア太平洋白内障屈折矯正手術学会年次総会（33rd APACRS）において
STN1012700（DE-127）やSTN1007603（DE-076C）などに関する最新データを発表

参天製薬株式会社（本社所在地：大阪市）は、2021年7月30日から31日に開催される第33回アジア太平洋白内障屈折矯正手術学会年次総会（33rd APACRS、<http://apacrs-snec2021.org/>）において、非選択的ムスカリン受容体拮抗薬 STN1012700（DE-127）や免疫抑制作用を持つ乳化点眼剤 STN1007603（DE-076C）などに関する発表が行われますことをお知らせします。

STN1007603 は、欧州やアジアなどで春季カタル治療薬「Verkazia」として販売しており、米国で2021年6月に承認を得ました。中国では、2021年4月に販売承認を申請しています。STN1012700 は、小児における近視進行抑制についての日本で第2/3相試験を実施しており、中国でも2021年度中に第1相試験を開始する予定です。

本学会では、アジアで実施された STN1012700 の第2相試験（APPLE）の結果や、Verkazia の米国でのラベルに記載された第3相試験（NOVATIVE/VEKTIS）の結果などが発表されます。

主要演題

ポスターID	演題
PP5-66	Efficacy and Safety of DE-127 versus Placebo in Mild or Moderate Myopia: The APPLE study
PP5-67	Changes in Axial Length of DE-127 (0.0025%, 0.005%, 0.01%) versus Placebo for Slowing Myopia Progression: The APPLE study
PP5-15	Safety/Tolerability of Topical Cyclosporine A Cationic Emulsion in Pediatric Patients with Active Severe VKC: Pooled NOVATIVE/VEKTIS trial results
PP5-97	Safety Outcomes of Microshunt Implantation vs. Trabeculectomy in Patients with Primary Open-angle Glaucoma

なお、緑内障手術用デバイス STN2000100（DE-128、Microshunt）の米州およびオーストラリア、ニュージーランドでの開発販売は、米国 Glaukos Corporation（本社：米国カリフォルニア州サンクレメンテ）が担います（2021年5月19日プレスリリース：<https://www.santen.co.jp/ja/news/20210519-1.pdf>）。

以上

本件に関するお問い合わせ先

参天製薬株式会社 IR 室

E-mail: ir@santen.com